

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成 25 年 7 月の動向

- 広島市総合指数（100.0）は前月比で 2 か月ぶりの上昇。前年同月比は 15 か月ぶりの上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.0）は前月比で 2 か月ぶりの上昇。前年同月比は 15 か月ぶりの上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.5）は前月比で 2 か月ぶりの上昇。前年同月比は 23 か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.0	0.5	0.4
生鮮食品を除く総合指数	100.0	0.4	0.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.5	0.2	▲0.6

## 3 前月からの動き

～食料及び交通・通信は上昇、被服及び履物は下落。～

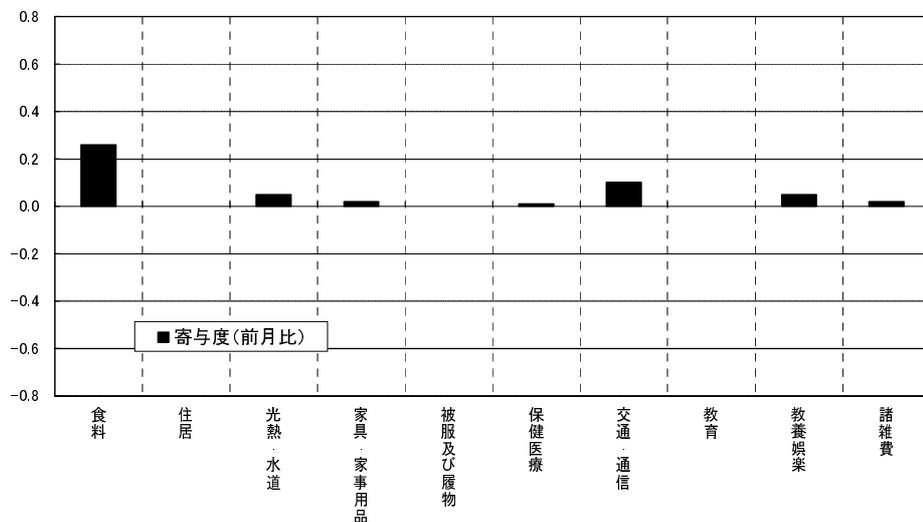
### (1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.0	100.2	98.9	109.1	93.2	101.1	98.9	102.7	98.8	93.0	104.5
前月比 (%)	0.5	1.0	0.0	0.6	0.6	▲ 0.1	0.3	0.7	0.0	0.5	0.3
寄与度	0.5	0.26	0.00	0.05	0.02	0.00	0.01	0.10	0.00	0.05	0.02

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：野 菜 ・ 海 藻 （前月比 7.3%，寄与度 0.18）等  
 交通・通信：自動車等関係費（前月比 0.7%，寄与度 0.06）等  
 被服及び履物：下 着 類 （前月比 ▲3.8%，寄与度 ▲0.01）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (レタス 等)	7.3%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲2.2%
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	1.4%	飲料 (コーヒー豆 等)	▲1.2%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.7%	果物 (さくらんぼ 等)	▲2.1%
魚介類 (いか 等)	2.4%	乳卵類 (チーズ 等)	▲0.5%
交通 (航空運賃 等)	1.5%	下着類 (男子パンツ 等)	▲3.8%

4 前年同月からの動き

～食料及び交通・通信は上昇、教養娯楽は下落。～

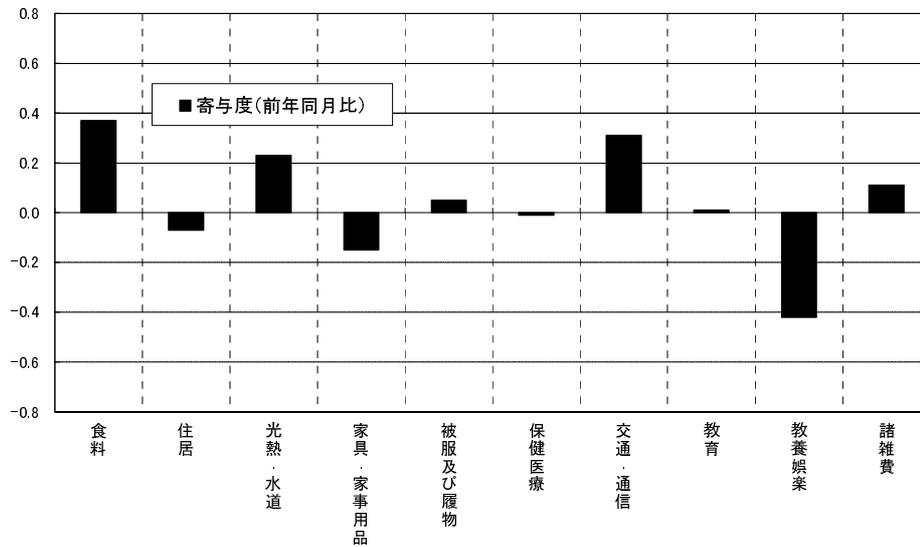
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.4	1.5	▲0.4	2.9	▲3.9	1.2	▲0.3	2.3	0.4	▲3.7	1.7
寄与度	0.4	0.37	▲0.07	0.23	▲0.15	0.05	▲0.01	0.31	0.01	▲0.42	0.11

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：野 菜 ・ 海 藻 (前年同月比 5.7%, 寄与度 0.14) 等  
 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 4.8%, 寄与度 0.35) 等  
 教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲9.0%, 寄与度 ▲0.16) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	4.8%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲9.0%
野菜・海藻 (トマト 等)	5.7%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲6.7%
電気代 (電気代 等)	3.2%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.2%
外食 (ハンバーガー 等)	2.2%	家賃 (持ち家の帰属家賃 等)	▲0.5%
身の回り用品 (ハンドバック [輸入品] 等)	12.6%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲5.2%